

令和4年度 法科大学院入学者選抜試験問題

民 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
  - (2) 解答用紙は、3枚あります。すべての解答用紙に受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
  - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
  - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

## 【民 法】

解答はすべて解答用紙の所定欄に記入しなさい。

### 第1問

次の各問いの文章は、民法に関するある内容について説明したものである。各問いの( )に入る言葉を答えなさい。なお、( )が複数ある場合は、同じ言葉が入るものとする。  
(各4点×10問)

- (1) 表意者が、表示に対応する内心的効果意思がない<真意でない>ことを知りながら、意思表示を行うことを( )という。たとえば、本当は売却する意思がないのに売買契約を締結するような場合である。 [漢字4字]
- (2) 一定の要件のもと、無権代理行為で本人の追認がなくても、本人に効果を帰属させる制度を( )という。その制度趣旨は、契約相手方の代理権の存在に対する信頼を保護し、取引の安全を図るところにある。 [漢字4字]
- (3) 占有者がその占有を妨害されたときは、( )の訴えにより、その妨害の停止及び損害の賠償を請求することができる。( )の訴えは、妨害の存する間又はその消滅した後一年以内に提起しなければならないといった提起期間の制限がある。 [漢字4字]
- (4) 法律に定められた一定の債権を有する者が、その債務者の財産につき、他の債権者に優先して自己の債権の弁済を受けることができる法定の担保物権を( )という。民法では、債務者の総財産を目的とする一般の( )、債務者の特定の動産を目的とする動産の( )、債務者の特定の不動産を目的とする不動産の( )が認められている。 [漢字4字]
- (5) 債務者が、その債務の履行が不能となったのと同じ原因により債務の目的物の代償である権利又は利益を取得したときは、債権者は、その受けた損害の額の限度において、債務者に対し、その権利の移転又はその利益の償還を請求することができるが、この権利を( )という。 [漢字5字]
- (6) 二人が互いに同種の目的を有する債務を負担する場合において、双方の債務が弁済期にあるときは、各債務者は、その対当額について( )によってその債務を免れることができる。 [漢字2字]
- (7)( )の条項のうち、相手方の権利を制限し、又は相手方の義務を加重する条項であって、その定型取引の態様及びその実情並びに取引上の社会通念に照らして信義誠実の原則に反して相手方の利益を一方的に害すると認められるものについては、合意をしなかったものとみなされる。 [漢字4字]
- (8) 引き渡された目的物が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものであるときは、買主は、売主に対し、目的物の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の( )を請求することができる。もっとも、売主は、買主に不相当な負担を課するものでないときは、買主が請求した方法と異なる方法による履行の( )をすることができる。 [漢字2字]

(9) 嫡出でない子を父又は母が自己の子と認めることを( )という。原則として、母子関係は分娩の事実により当然に発生し、( )を要しない。任意の意思による( )と裁判による強制( )がある。 [漢字2字]

(10) 一定範囲の相続人に、相続財産の一定割合の取戻し権が認められ、その割合を( )というが、( )権利者及びその承継人は、受遺者又は受贈者に対し、( )侵害額に相当する金銭の支払を請求することができる。 [漢字3字]

## 第2問

次の問題について、それぞれ論じなさい(両問とも解答用紙各10行以内で記入すること)。

(1) 代理権の濫用に関し、2020年4月1日施行の改正法によりどのような規定に改正され、どのような規定が適用可能となったか、また、第三者が新たな法律関係に入った場合の保護はどのように解したらよいか論じなさい。 (配点20点)

(2) 双務契約において一方の債務の履行が不能となった場合に関し、危険負担と契約の解除の要件・効果を述べたうえで、両者の関係を論じなさい。 (配点20点)

## 第3問

- 2020年2月1日、AはBに対し、弁済期を2021年1月30日と定め500万円を貸し付けた。
- Bには、2019年8月5日に死亡した父親から相続により取得した甲土地(評価額700万円)があり、甲土地がBの有する唯一の財産であった。
- 2020年3月15日に、Bは甲土地について相続を原因とする所有権移転登記を経由した。
- 2020年8月15日に、Bは友人のCに対し、甲土地を代金350万円で売却し、同日その旨の所有権移転登記を経由した。
- さらに、甲土地は、2020年10月7日に、CからDに代金400万円で売却され、同日、その旨の所有権移転登記を経由している。
- 2020年11月20日、Aは甲土地がBからC、CからDへと売却された事実を知った。
- その後、関係者に事実関係を確認し、2020年12月20日までは、それぞれの売買について代金額を含めた詳細を知ることができた。それによれば、CおよびDは、それぞれ代金の支払を済ませており、また、BがAから500万円を借用している事実、甲土地がBの有する唯一の財産であった事実、そして、甲土地の評価額が700万円であることを、それぞれ売買契約当時、知っていたとのことである。
- Aは、Bが評価額より安い価格でCに甲土地を売却した行為について、CとDに裁判を提起したいと考えている。また、CとDも財産をAに取り戻された場合には、Bに裁判を提起したいと考えている。

1から8の事実を前提に、以下の設問に答えなさい。

- AC間の法律関係を論じなさい。 (配点10点)
- CB間の法律関係を論じなさい。 (配点10点)
- AD間の法律関係を論じなさい。 (配点10点)
- DB間の法律関係を論じなさい。 (配点10点)

以上